

3. 里見 奈々

横浜駅の帰宅困難者をどのように減らすか

要旨

13 年前の 2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災で、東京は最大で震度 5 強の揺れを観測した。多くの鉄道が運行を停止し道路も渋滞したため、帰宅できない人が駅や道路にあふれた。こうした人たちは帰宅困難者と呼ばれ、首都圏でおよそ 515 万人にのぼったとされている。内訳は、東京都で約 352 万人、神奈川県で約 67 万人等である。(1) 東京都の場合、外出者人口に対して帰宅困難者数が約 40%を占めたとされている。今後、都心南部を震源とするマグニチュード 7.3 の地震が発生した場合、およそ 453 万人の帰宅困難者が発生するとされている。

本研究では、これを踏まえて、横浜駅を対象として帰宅困難者の減少にはどうすればよいかを考える。帰宅困難者の減少のために、有効な対策として、一時滞在施設を活用する方法が考えられる。その為に、一時滞在施設の現状、周知の方法を考えていく。

5. 里見 奈々

横浜駅の帰宅困難者をどのように減らすか

要旨

13 年前の 2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災で、東京は最大で震度 5 強の揺れを観測した。多くの鉄道が運行を停止し道路も渋滞したため、帰宅できない人が駅や道路にあふれた。こうした人たちは帰宅困難者と呼ばれ、首都圏でおよそ 515 万人にのぼったとされている。内訳は、東京都で約 352 万人、神奈川県で約 67 万人等である。(1) 東京都の場合、外出者人口に対して帰宅困難者数が約 40%を占めたとされている。今後、都心南部を震源とするマグニチュード 7.3 の地震が発生した場合、およそ 453 万人の帰宅困難者が発生するとされている。

本研究では、これを踏まえて、横浜駅を対象として帰宅困難者の減少にはどうすればよいかを考える。帰宅困難者の減少のために、有効な対策として、一時滞在施設を活用する方法が考えられる。その為に、一時滞在施設の現状、周知の方法を考えていく。